

原稿不要!!

完全オーダーメイドの  
自費出版専門工房  
「ことこと舎」



「日本自費出版文化賞」入選!

(株)セキグチ モンチッチパパ 関口晃市氏/唐長 11代女将 千田郁子氏

1962年の創業以来55年、印刷業を主としながらも時代にあわせ挑戦し続ける、株式会社文伸（本社：東京都三鷹市、代表取締役社長：川井信良）は、自社工場における一貫体制と確かな技術を活かし丁寧な対応と適正価格で自費

出版に特化したブランド、自費出版専門工房「ことこと舎」を2015年9月に発表。60代以上の余裕層をメインターゲットに、一般的に避けられがちな「原稿不要」の自費出版に果敢に取り組み、完全オーダーメイドの他社には真似のできないきめ細やかな

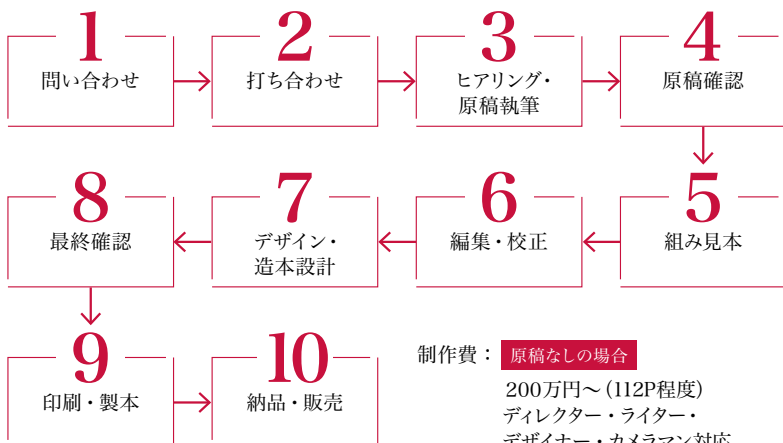
サービスで好評をいただいております。実際に「原稿なし」で、これまでの人生を語るだけで自費出版をされた2つの事例を生のお声と共にご紹介いたします。いずれも2017年度第20回日本自費出版文化賞（審査委員長：色川大吉氏）に入選いたしました。

本づくりの楽しさがわかる  
振るとコトコトと音がする

「ことことBOX」を  
希望者にプレゼント



制作について



## 第20回日本自費出版文化賞に入選!

(日本グラフィックサービス工業会主催・朝日新聞社後援)

### 事例紹介

(株)セキグチ 会長 関口晃市氏

### 我が家のルーツを調べ、 自身の記憶をたどることで 人生の整理ができました

兄弟の「うちのことまとめてよ」のひと言をきっかけに、自分史(ファミリー史)をつくることを決意しました。自分史とは他人様が読むと退屈になってしまう本と聞いていたのですが、意外にも知人から「送ってくれ」という声が多く、驚いています。モンチッチ誕生の背景や日本の人形史などにも触れたのが興味をひきつけたのでしょうか。本づくりをしたことで良かったことのひとつは、我が家のルーツを調べ、自身の記憶をたどることで、人生の整理ができたこと。もうひとつは姪から“小さい頃に亡くなった父親のことがよくわかって嬉しかった”という感謝の手紙をもらったこと。彼女にとって大切な本になってくれたのは、なにより嬉しく思いました。

ことこと舎の大手にはない細やかな丁寧な本づくりによって、満足の一冊になったことは言うまでもありません。自分史づくりに悩んでいたら、一歩、踏み出すことをおすすめします。(関口晃市)



#### ファミリー史『家記瀉瓶(かきしゃびょう)』

おサルのモンチッチの生みの親、株式会社セキグチの会長、関口晃市氏が綴ったファミリー史。江戸初期から続く農家を先々代が商家に転進し、大正時代にセルロイド加工所を創設、人形・ぬいぐるみの製造業を生業とする。本書は、こうした関口家の歴史を紐解くことで、日本のぬいぐるみ(人形)史も見えてくる興味深い一冊となっている。

サイズ: 横長 B5版変形(天地172×左右237mm) / 160 ページ(モノクロ128P+カラー32P) 印刷: オフセット印刷 仕様: 上製本(表紙と背は箔押し) 冊数: 300冊 販売価格: 3,000 円+税

唐長 11代女将 千田郁子氏

### 上梓をきっかけに いろんな分野の方々が集まって、 わたしたちはとてもハッピーです

『唐長IKUKO』の本を初めて手にした時、私は思わず「あつ」と小さな声を発していました。真っ白のとてもモダンな表紙、清らかな銀のタイトル、その上に隠し文的な唐長文様と、なんと奥ゆかしいこと。中身もすべて私にはもったいないほどの素晴らしい本に出来上がっていました。ことこと舎さんのセンスや本づくりの対応にあらためて「ここでつくって良かった」と痛感しました。上梓後は、読んでくださった方から「何度も読み返しましたよ」「一気に読みました」などの声が多く寄せられ、とても励みになりました。この本は歳を重ねた今だからこそまとめられたもので、読み返すたびに、まるでモノクロ映画のシーンみたいにドラマチックにさまざまなシーンが次々とよみがえります。そして“この続きをなんとかハッピーに”と元気がわいてきます。『唐長IKUKO』を中心に、応援者としていろんな分野の方々が私たちの周りに集まって来ていただいています。今、わたしたちは本当にハッピーです。(千田郁子)



#### 自分史『唐長IKUKO』

京都に400年続く唐紙の老舗「唐長(からちょう)」11代女将、千田郁子氏のご自身の人生を綴った自分史。夫妻の出会い、きもの愛、アンティーク熱、唐紙についてなどが語られ、章ごとの扉部分には夫の11代 千田堅吉氏が一枚一枚手摺りしたという美しい本物の唐紙を挟み込み、貴重な限定本となっている。

サイズ: A5 版変形(天地190×左右148mm) / 144 ページ 印刷: 高精細印刷 仕様: 上製本(表紙は空押し地の地に、タイトル&著者名は箔押し加工、ヴァンヌーボ紙使用) 冊数: 800 冊 販売価格: 2,500 円+税

#### ● 会社・出版のお問い合わせ先

株式会社文伸/ことこと舎 担当: 稲富能恵(いなとみのえ) inatomi@kotokotosya.jp

〒181-0012 東京都三鷹市上連雀1-12-17 TEL: 0800-800-7651 ことこと舎 <http://kotokotosya.jp> 文伸 <http://www.bun-shin.co.jp/>

#### ● 取材・掲載のお問い合わせ先

株式会社SUZU PR COMPANY 担当: 鈴江恵子 suzue@suzu-pr.com TEL: 080-6390-8284